

報告事項

1 業務量調査の目的

業務量調査の実施

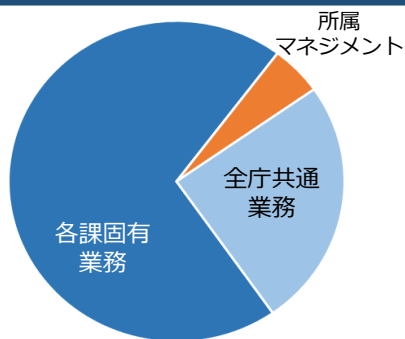


各所属の業務量を可視化し、BPR(業務プロセス再構築)や業務カイゼンのヒントとするため、2015(平成27)年度から全職員を対象に業務量調査を実施しています。

- ① 業務量の**傾向**を把握できる。
- ② 増減が大きい業務が可視化でき、数値による分析が可能となる。
- ③ 職員区別に業務に従事している時間数が把握できる。

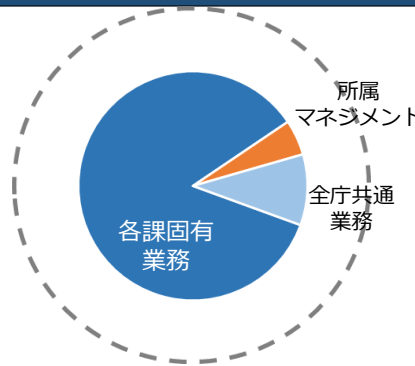
業務プロセスの見直し
業務カイゼン 等

現況の業務量イメージ



Business
Process
Re-engineering

BPR後の業務量イメージ



目的

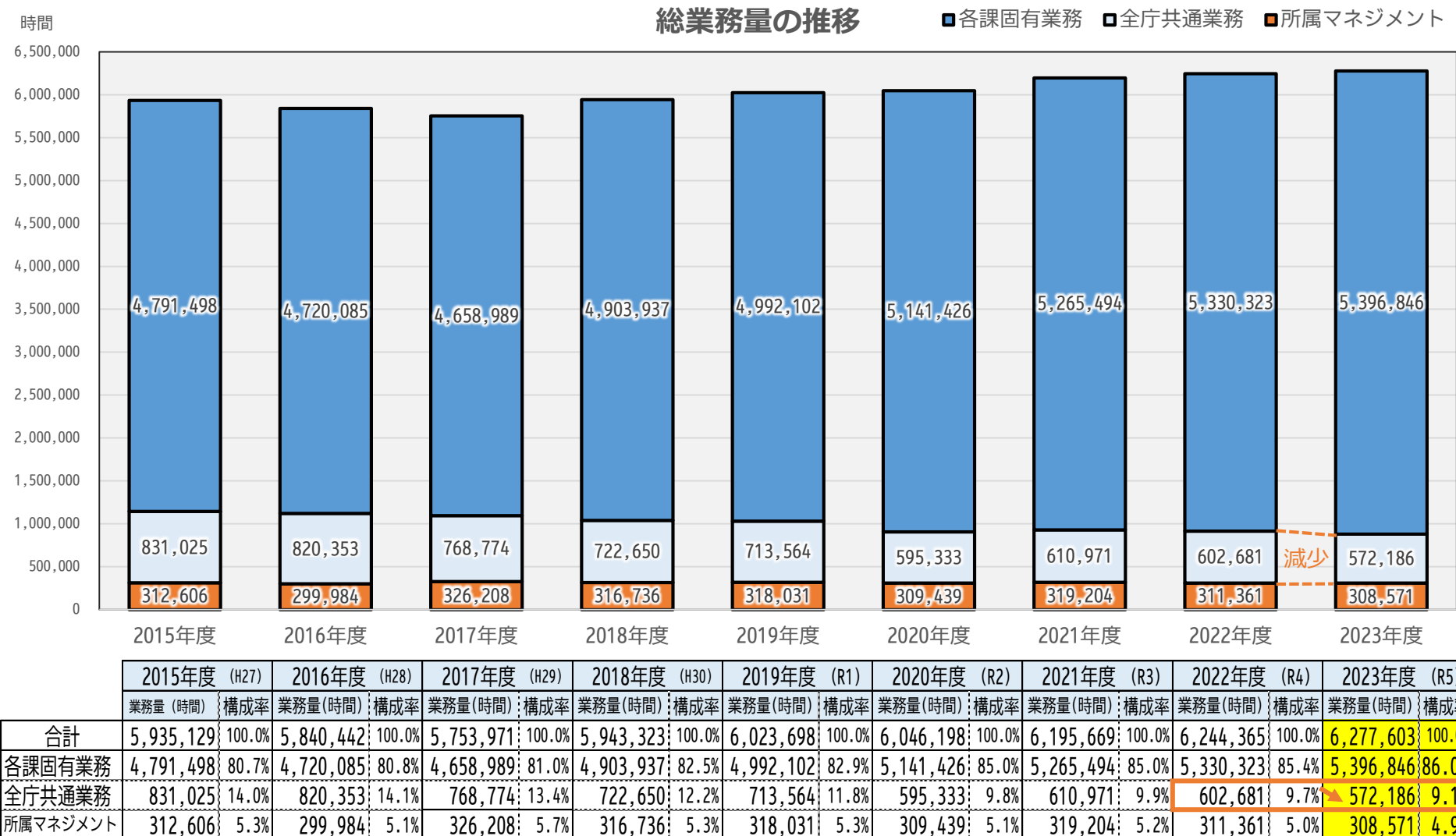
1 施策の効率的推進

全庁共通業務割合削減(10%未満)
各課固有業務割合増大

2 ワークライフバランスの推進

総業務量削減

2 業務量調査結果 <総括>



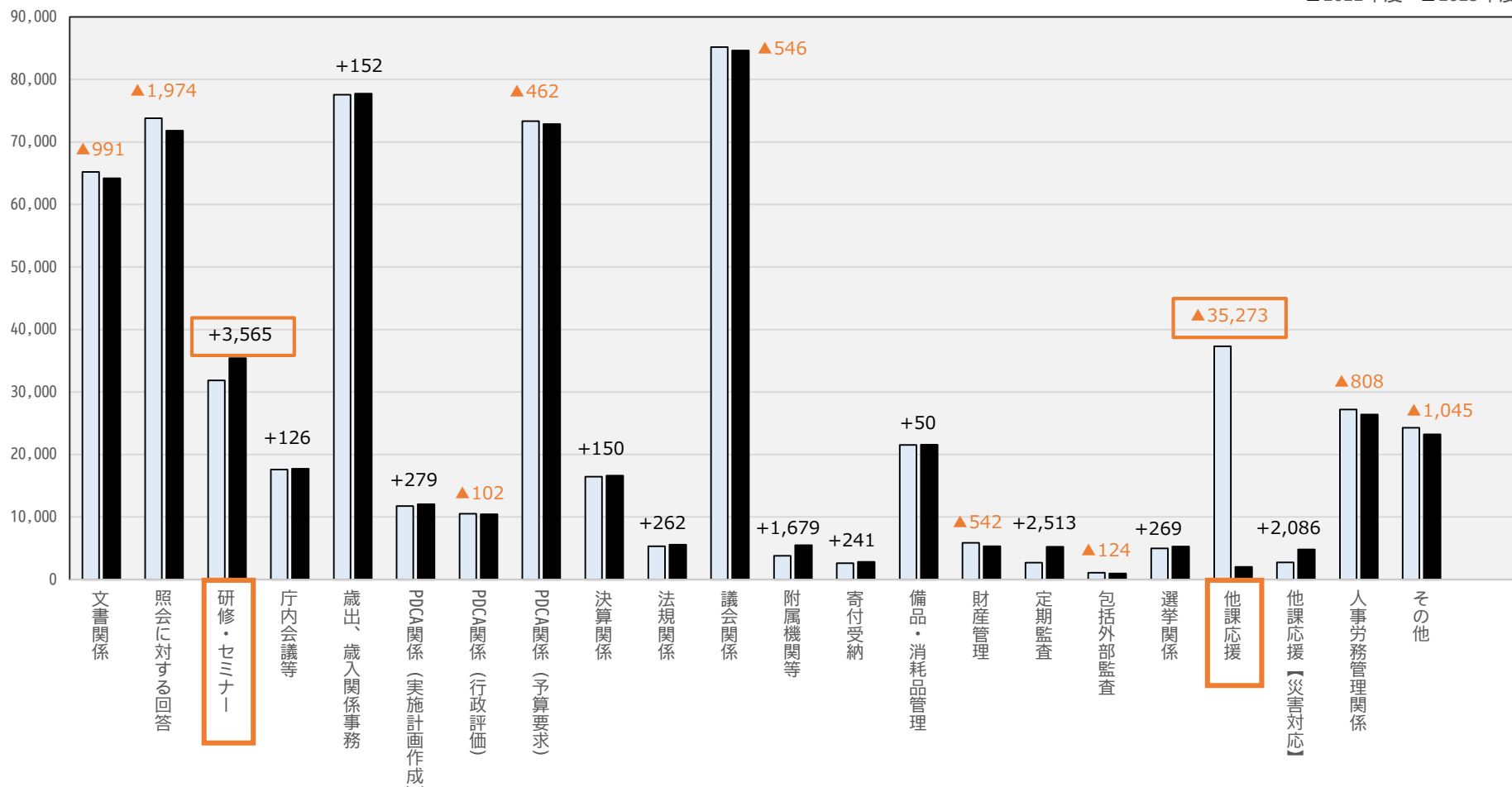
➤ 全庁共通業務の割合は、2023年度は9.1%であり、前年度に引き続き目標値である10%未満を達成した。

3 業務量調査結果 <全庁共通業務-前年度比>

全庁共通業務量 前年度比較

□ 2022年度 ■ 2023年度

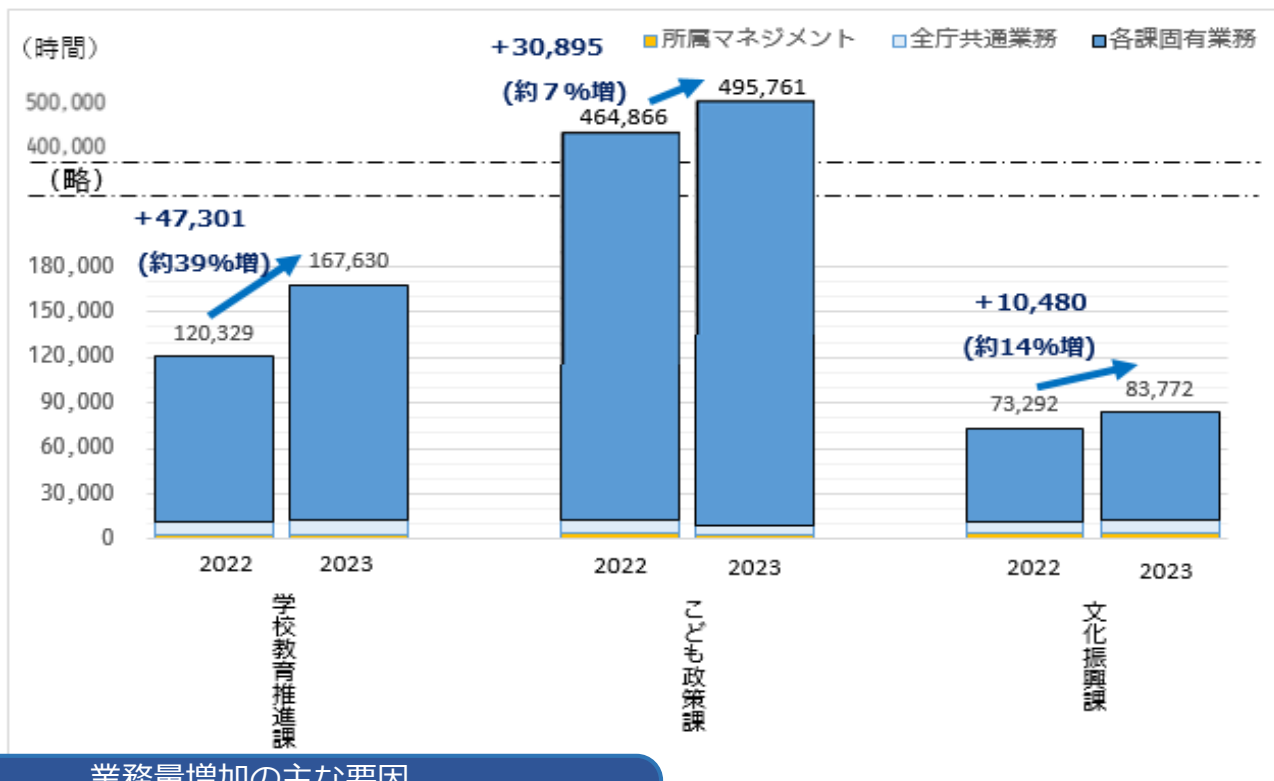
時間



- 「他課応援」の業務量が前年度より減少 (-35,273時間)
→新型コロナウイルスの5類感染症移行等に伴う新型コロナ対応業務の縮小。
- 「研修・セミナー業務」の業務量が前年度より増加 (+3,565時間)
→新型コロナウイルスによる行動制限が緩和された影響とみられる。研修やセミナーを実施すること自体が目的とならないよう、目的・効果・規模・手法等の検討が必要。

4 業務量調査結果 <総業務量-前年度比増加所属>

総業務量 前年度比較【増加した主な所属】

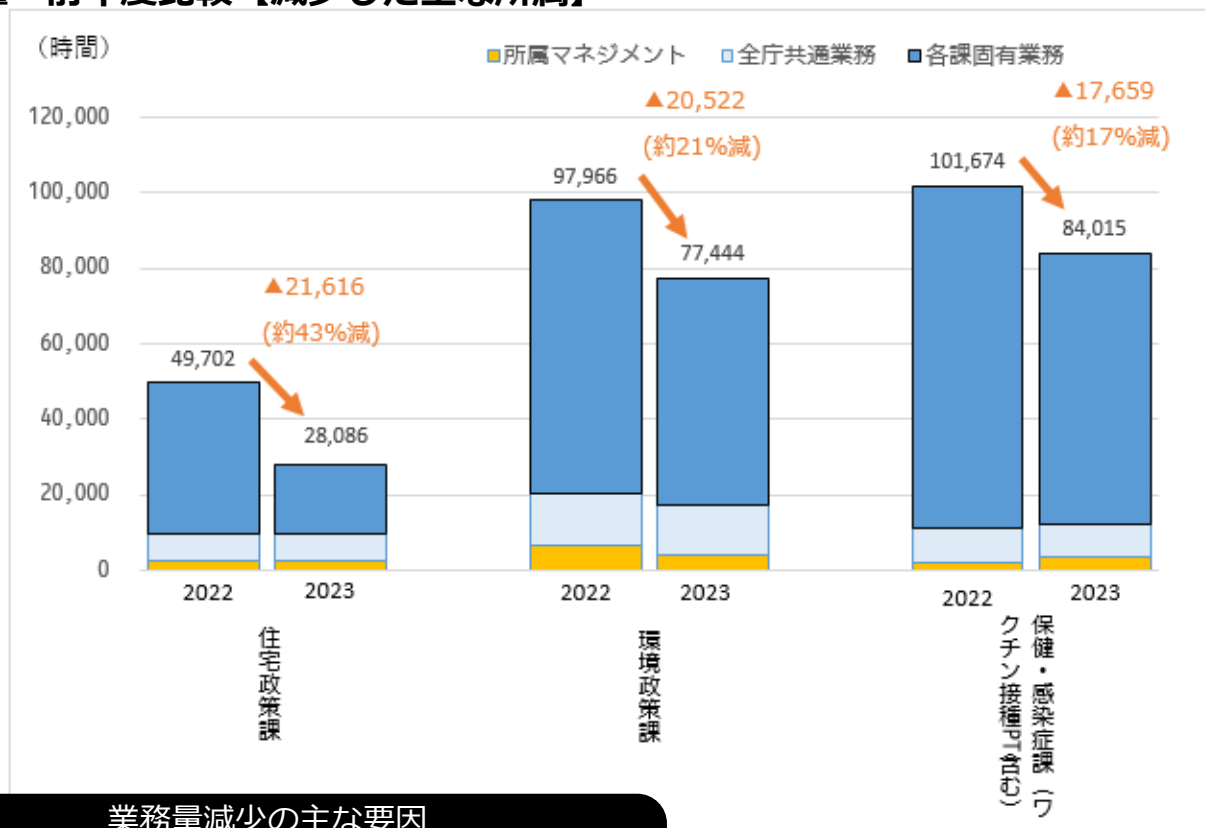


業務量増加の主な要因

- 学校教育推進課…学校司書の雇用形態変更（P T A雇用から会計年度任用職員への変更）に伴う増
（小学校司書支援事業費★ +23,178時間、中学校司書支援事業費★ +24,898時間）
- こども政策課（放課後児童クラブ含む）…児童クラブ施設増設による増、児童クラブ支援員の加配による増、
児童クラブの指定管理者制度導入準備に伴う増
（放課後児童クラブ運営事業費★ +33,660時間）
- 文化振興課…歴史情報博物館整備に伴う増、職員の増
（（仮称）歴史情報・公文書館施設整備事業費★ +4,839時間）

5 業務量調査結果 <総業務量-前年度比減少所属>

総業務量 前年度比較【減少した主な所属】



業務量減少の主な要因

- 住宅政策課…市営住宅の指定管理者制度導入に伴う減
(市営住宅維持管理費 -13,369時間、市営住宅使用料徴収事務費 -6,044時間)
- 環境政策課…除去土壌等搬出業務の縮小に伴う減
(除去土壌等搬出事業費 -5,374時間、除去土壌等仮置場整備事業費 -4,807時間)
- 保健・感染症課(ワクチン接種PT含む)…新型コロナ対応業務の減
(防疫対策事業 -17,071時間)